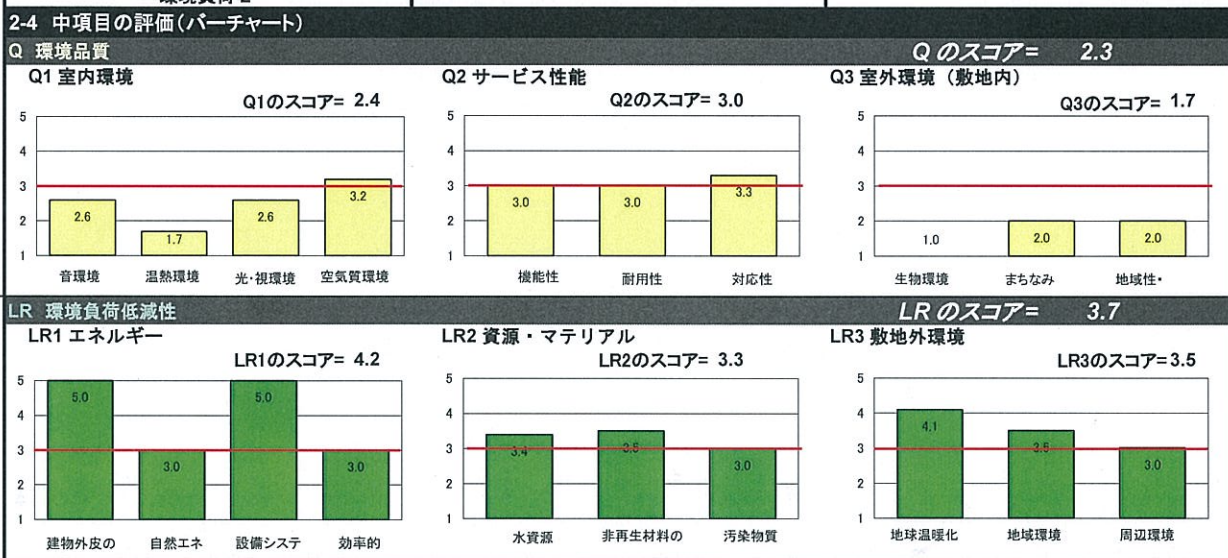
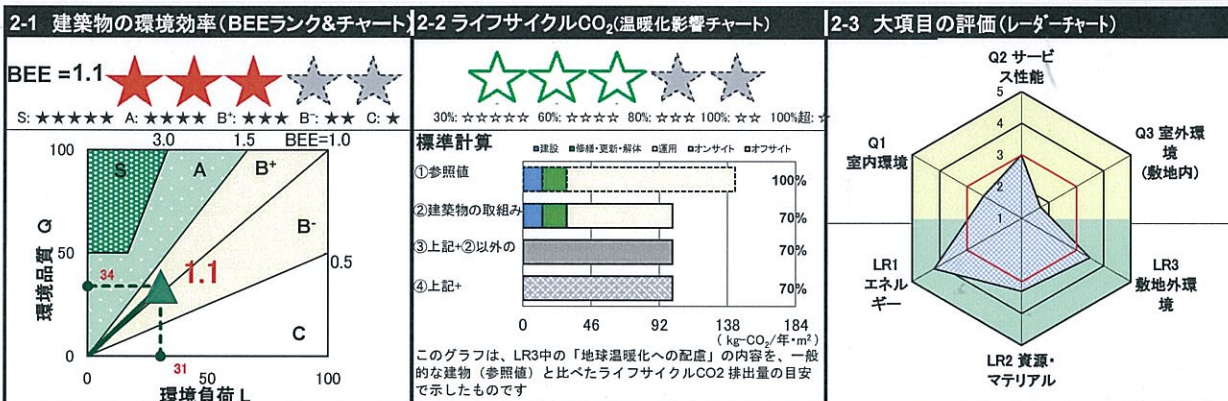


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ムロオ米子センター新築工事	階数	地上2F
建設地	鳥取県米子市流通町430番25	構造	RC造
用途地域	準工業地域、防火指定なし	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,100 時間/年
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年9月 竣工	評価の実施日	2015年11月30日
敷地面積	12,135 m ²	作成者	五洋建設株式会社
建築面積	6,016 m ²	確認日	2015年11月30日
延床面積	11,332 m ²	確認者	上田 泰弘



3 設計上の配慮事項		
総合 接道部には可能な限り緑地を配置し、周辺の景観に配慮した。 外皮に断熱施工することにより建物の熱負荷低減に配慮した。		その他 0
Q1 室内環境 外界から熱的侵入の抑制。 内装仕上げ材、合板類、塗装剤、接着材はすべてF☆☆☆☆以上を使用する。	Q2 サービス性能 ゆとりのある空間を提供。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地境界は見通しの良いフェンスとし防犯性に配慮した。
LR1 エネルギー 外皮に断熱施工することにより外部からの熱負荷を軽減している。効率の良い設備機器の採用により、高効率化を図った。	LR2 資源・マテリアル 大便器、小便器、洗面器に節水器具を採用し節水に取り組む。 躯体材料以外にリサイクル材を使用。	LR3 敷地外環境 燃焼機器は使用していない。 ライフサイクルCO ₂ 削減率: 30%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される